

カーボンニュートラルに貢献するオリジナル材料を新開発 ～「第2回 サステナブルマテリアル展」にて初展示～

株式会社東海理化(本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之タ 裕美)は、カーボンニュートラルに貢献するオリジナル材料「Bamboo+」を新開発し、12月7日(水)から12月9日(金)まで幕張メッセで開催される「第2回 サステナブルマテリアル展」(第13回高機能素材 Week 内)にて初展示します。

当社は「人が手掛けないことこそやる」の創業精神のもと、これまで自動車部品業界で培われた技術をさらに進化させ、カーボンニュートラルの実現を目指し挑戦する思いから、本展示会へ初めて出展し、今回の新開発材料をはじめとする様々な竹材料アイテムをご紹介します。

◇オリジナル材料の特長

『Bamboo+』(株式会社ミロクテクノウッド、高知県との共同開発)

自動車用の竹ステアリングホイール※1の開発と製造を手がけてきた関連会社の株式会社ミロクテクノウッド(高知県南国市)と高知県との共同開発で、オリジナルの工法を用いて竹と熱可塑性プラスチックを複合させた、環境に配慮した新材料です。今回開発したこの新材料は、化石資源由来のプラスチックに比べてCO₂発生量を減少させてカーボンニュートラルに寄与するとともに、成形時のソリの低減を可能にします。また、自動車室内部品に対応可能な、木質系複合材料特有の臭いの抑制も実現しています。原材料に竹林整備で伐採された竹を使用でき、事業活動を通じて森林環境保全にも貢献できる新材料です。



元の竹材



開発した新材料



新材料での成形品

◇その他の竹材料アイテム

(1) 各種竹加工製品

竹の工業利用例として、当社や株式会社ミロクテクノウッドがこれまで手がけてきた竹ステアリングホイールやインテリアグッズなど、高度な切削加工技術と塗装技術で作られた製品をご紹介します。



竹ステアリングホイール



音響機器部品



名刺入れ



スマホ用 無電源スピーカー

(2) 竹フェイクレザー

フェイクレザーの表皮プラスチックと竹を複合させて開発した材料をご紹介します。本材料は、複合させる竹繊維の前処理とプラスチック種の組み合わせを調整することで、他のフェイクレザーにはない触感・意匠性を付与したものとなっています。



竹フェイクレザー

◇展示会概要

「第2回 サステナブルマテリアル展」(第13回高機能素材 Week 内)

- ・会期：12月7日(水)～9日(金)
- ・場所：幕張メッセ 小間番号 15-5
- ・展示会 WEB サイト：<https://www.material-expo.jp/hub/ja-jp/about/susma.html>

※1 ステアリング事業は豊田合成(株)と協業しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社東海理化 総務部広報室 (0587-95-5211)